

恩師・近藤みゆき先生に感謝を込めて

岩 崎 瑠 莉 恵

今年の3月頃、コロナ禍の影響もあり、大学時代の友人達が皆、変わりなく過ごしているか、ふと気になったことがあります。パソコンを開き、大学のホームページを検索したり、先生方の研究業績を拝見したりしながら学生時代を懐かしく思い返していた時、近藤先生の訃報が目に見え込んできました。大学在学中から先生の身体の調子があまり良くないことは聞いていましたが、信じられない気持ちを抑えられず、慌てて同じゼミ生であった友人達に連絡を取りました。今でも近藤先生が亡くなられたという実感を抱くことができず、悲しみと寂しさで胸がふさがる思いです。謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、ゼミ生の一人として先生との思い出を書かせて頂きます。

近藤先生は、学生の私たちにとってまさに憧れの先生でした。エレガントで凛とした立ち振る舞い、優しさの奥にある厳しさ。私が中古文の繊細優美で雅な世界に興味をふくらませ、引き込まれていったのは、先生の醸し出される雰囲気とその世界観がびったりと重なり合っていたことも大きく影響していると思います。大学に進学して、心惹かれる講義が様々ありましたが、とりわけ、近藤先生のご研究の分野である、歌ことば表現についての演習が楽しく、近藤先生からご教授頂いたことや、クラスの仲間と何度も議論や討論を交わした日々は、今でも鮮明に思い出されます。近藤先生は、学生一人ひとりの個性や資質をよく見定めて指導にあたられ、どのような報告や発表に対しても否定することなく、それぞれの長所に目を向けて下さいまし

た。いつでも親身になって話を聞き、先生ご自身の様々な経験を交えながら的確な助言、指導をして下さいました。私は大学4年次に近藤ゼミに所属させて頂き、『源氏物語』中の和歌についての卒業論文を執筆しましたが、日本語の面白さや奥深さを感じ更に深く学びたいと考え、修士課程に進み、日本語学・日本語教育学を専攻することを決めました。その際に近藤先生から掛けて頂いた温かい言葉の数々も忘れることはできません。その後、大学院ではZ-bramモデルを使って『古今和歌集』を解析する手法の基礎をご教授頂きました。特定の表現形式が男性あるいは女性のみに偏って出現すること、和歌の表現形式にジェンダー性が存在することを学び、非常に興味深く感じました。大学・大学院で近藤先生からご指導頂いた経験や、頂いた言葉は貴重な宝です。新しい世界が目の前に広がるような感覚、猛烈に楽しいと感じて無我夢中になる感覚。こんな感覚を味わった6年間があるのは、近藤先生のご指導あつてのことです。現在、高校の教員をしている私にとって、先生のように、好奇心を掻き立てるような授業が展開できているだろうか、と考えるとまだまだこれから経験を積んで、自己研鑽に努めていかなければならないと気づかされます。

修士課程を終えてからは、なかなかお会いできないままでしたが、何度かメールでご相談に乗って頂いたこともありました。頂戴した数々のご恩に少しも報いることができないままお別れになってしまい、やるせない思いでいっぱいです。近藤先生のこれまでのお導きに心より感謝申し上げます。安らかにお休み下さい。本当に有難うございました。

(いわさき るりえ・平成24年度博士前期課程修了生)